

れんごう中越地協

23年度連合中越地協

四役が新春対談で課題述べる

「連合中越地協四役新春対談」が1月12日(木)午後6時30分から長岡グランドホテルで開催され、春季生活闘争をはじめとする当面の活動、各構成組織の課題等について意見交換。また、今年の抱負やめざすもの等については書面で伺った。(その1)



★矢島議長
U Aゼンセンは組織人員180万人以上の民間最大の組合員数を有します。連合加盟組合員数が減少していく

中で、年々組合員数が増加しているレアな産別です。その背景的には、組織内に組合を作る専門の人たちがおり、日常的に活動をしていること。そして都道府県支部へ専従者を配置し日常的にも組合作りの仕事にも携わっていることが組織拡大の大きな要因です。そして、もう一つは世の中のエッセンシャルな数多の企業が加盟している点です。いわばモザイクな業種の産別でもあるわけで、一産別一業種の構造ではない点が組織拡大を行いやすくしています。「繊維・化学・食品・流通・サービス・一般労働組合同盟」が正式な名称になっていることから多岐に渡った構造であることが分かります。

この大所帯の組織ですが、7割が中小組織、6割が短時間で働く組合員です。ここで課題が見えてくるわけですが、一つは産別内で賃金格差(業種・規模)もう一つは政治力(労使一体的な政策に乏しい)の脆弱さが挙げられます。つまり、2023春季生活闘争での成果、春の統一地方選挙での組織内議員の当選へ向けた行動に、どれだけ180万組織の力の集合が図れるかが問われています。

その意味で大産別の力量が試される、ここ半年なわけです。★野田副議長
2023年はパンデミックにより変化した生活様式、働き方などが定着し、すべてにおいて新たに進んでいく年になると思われまします。マイナンバーカードを例にとってみても、セキュリティ管理の課題はまだまだ残りますが、個人情報が一つのIDカードで管理され、場所、時間を問

第1135号2023. 2. 1
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



わず諸手続き等が簡素化され効率的な社会が実現されることになるでしょう。人の移動も伴わない為、これからの高齢者社会への対応や環境改善・エネルギー消費の削減にも繋がります。混沌とした時代で3年・5年先を読むことは非常に難しく、変化を受け入れ改善が必要であれば速やかに見直すことが必要と考えます。

JAMではものづくりに産業の中小企業が80%以上を占めており、大企業との企業間格差が大きな課題となっておりあります。春季交渉でも大手企業が賃上げを表明する中で、中小企業では業績が伸び悩みの中で賃上げをしないと回答している経営者も多数存在しています。人事制度においても一律のベースアップではなく、業績評価や役割に見合った報酬制度に移行する企業も増加しており、限られた原資の分配を決定するものが主流となつてきています。組織にかかわらず底上げがもつとも必要であり、その為には価値を認め合う社会、適正価格での取引が急務であり、社会全体として訴える為にも組織拡大が重要となります。その一環として4月に行われます2023年統一地方選挙に

於いて、労働者の声を県政・市政へ届ける為にも必ず連合推薦の議員を勝利させなければなりません。ともに頑張りましょう!

★横澤事務局長
新型コロナウイルス感染症の拡大から3年、さらに相次ぐ自然災害。そして最近では鳥インフルエンザ対策と自治体、自治体の職場では保健所、医療機関の職場はもちろん、そのほかの職場でも様々な影響を受け、職員が疲弊している実態にあります。

この原因は、業務量

今年度は大雪の年として記憶に残るのではないのでしょうか。年末の寒波では道路の通行止め等に伴う渋滞や、急な降雪に処理しきれない道路事情による立ち往生、岩塚製菓においては翌朝の帰宅に苦労した方がいました。災害級の大雪に対して画一的な対応は難しいとしても「優先事項」について労使確認する機会となりました▼何より優先されるべきことは「社員一人一人の安全」と言えるでしょう。その上で、出社するのが当たり前ではなく「ありがたい事だ」とらえ感謝の意を伝える方法を検討し、災害時実労働時間に対し割増賃金支払いをすることで合意しました▼中越地震が発生した際、壊滅的な打撃を受けた当社が復旧するために危険を顧みず作業に

が増加、高度化する中で減らされている正規職員数と、逆に官製ワーキングプアといわれる非正規雇用職員の増大です。こうした中での春季生活闘争で、自治労は昨年に引き続き「もつと公共サービスに投資を」をスローガンに投資を行うことにしています。このキャンペーンはコロナ禍で明らかになった、この間の新自由主義的改革で、その危険を克服するたため、公共サービスの拡充を求めているというものです。

経済が停滞しているといわれる日本にとつて今必要なことは、すべての国民が安心して生活でき、新たな取り組みにチャレンジできる社会保障制度を公共サービスの充実によって実現することです。そのためには、税と社会保障・公共サービスへの信頼を作ることが不可欠で、その第一歩は自治体サービスの充実であり、それを担う人員配置だということから構築する方針です。



副議長
五十嵐 聡

あたたか社員がいたのも事実です、また地域の様々な方々からご支援いただき現在存続できています、感謝の気持ちを受け継がれ2020年の関係道立往生の際には協力業者様とともにおせんべいを差し入れるという行動に心がけていきました、この話は美談として拡散しましたが「マニアル」としては残りませんが、各人の置かれた状況は様々です、対応も様々になります▼しかしながら優先されるものは「社員の安全」です、そして「社員の生活」があつてこそその企業活動存続です。1月後半に10年に一度と言われる寒気が到来しました、新潟県では先例を活かし早めの対応をとつたようです、働く環境としてどのような行動がより良いか、さらなる労使協議を進めます。

サラリーマン川柳 (新人は ペンを取らずに 写メを撮る) (守ろうと 誓った嫁から 身を守る) (お犬様 俺の四倍 床屋代) (子におもちや 捨てると言つたら「イヤ、売って」)

サラリーマン(君の名は ゆとり世代の名が読めず) 節分に 我が家は鬼が 豆をまく (先を読め 先を読むより 空気読め) (コインより 仮想に近い 夫婦仲)



ながおかワーク&ライフセミナー



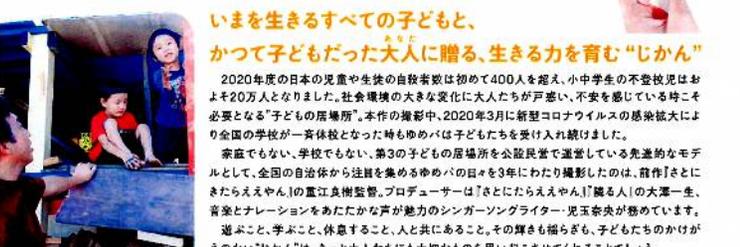
ゆめパのじかん



2023年2月23日 (木・祝日) 13:30~16:00
会場 ニューオータニ長岡NCホール
参加費 無料



ゆめパは子どもみんなの遊び場。約1万㎡の広大な敷地には、子どもたちの「やってみたい」がたくさん詰まっています。手作りの遊具で思いっきり遊ぶ子どもたち。一緒にどろんこになっている親子。くるとるを贈る子。小さな子どもを連れて自主保育のグループ。ゆめパにはいつも子どもと子どもに囲まれる大人が揃っています。ゆめパの一角には「フリースペース」があり、学校に行っていない子どもたちが自分の「好き」をあたためています。安心して、ありのままの自分で過ごせる場所。虫や鳥を観察したり、木工加工に熱中したり、ゴロゴロ休憩したり。でも、時には学校や勉強のことが気になる子どもも…。新しい春を前に、一人の子が自身の将来を考え始める。子どもも大人もみんなが作り手となって生み出される「居場所の力」と、時に悩みながらも、自ら考え歩もうとする「子どもの力」を描き出したドキュメンタリー。



ながおかワーク&ライフセミナー講座2
日時 2023年2月23日(木) 13:30~16:00
会場 ニューオータニ長岡NCホール
映画上映 「ゆめパのじかん」(上映時間90分)
活動報告 蔵王の杜プレイパーク
参加費 無料
森のようちえん ふたばっこ&ねっこぽっこ
長岡ワーク&ライフセミナー主催団体: 長岡地区労働者福祉協議会
共催 (公財)新潟ろうきん福祉財団・(一社)新潟県労働者福祉協議会
後援 長岡市・長岡市教育委員会
この事業は公益財団法人新潟ろうきん福祉財団の公益支出事業を主たる財源として開催します。
長岡地区労働者福祉協議会 事務局 連合中越地域協議会
問い合わせ TEL 0258-86-0111 (平日:9:00~17:00)
申し込み先 FAX 0258-86-0884 申込みはこちらから
メール rengo.c@topaz.ocn.ne.jp (Googleフォーム)



一緒に笑って、たまに怒って涙して。
このありふれた毎日が宝物。
都会の古民家で寄り添って暮らす母と息子。ささやかな毎日を送っていたが、息子が50回目の誕生日を迎えた時に母はふと気づく。「このまま共倒れになっちゃうのかね?」母親と前向きな息子が、社会の中で生きていく様子を温かく誠実に描く本作。包容力あふれる母親を演じるのは、54年ぶりに主演を務める加賀まりこ。軽口を叩きながらも、小柄な身体で大きな息子の世話をする姿はともちゃーミング。だからこそ、やがて訪れる「息子が1人で生きる未来」を案ずる母親が、より一層切ない。息子役にはNHK連続テレビ小説「おちよん」など俳優としても活躍中の塚地武雅(ドラゴン)が、地域コミュニティとの不和や偏見といった問題を取り入れながらも、親子の絆と深い愛を描き、あたたかな感動をもたらす。

父親代わりの梅の木が運んでくれた“小さな奇跡”とは...?
山田珠子は、息子・忠男と二人暮らし。毎朝決まった時間に起床して、朝食をとり、決まった時間に家を出る。庭にある梅の木は伸び放題で、隣の里村家からは苦情が届いていた。ある日、グループホームの案内を受けた珠子は、悩んだ末に忠男の入居を決める。しかし、初めに離れて暮らすことになった忠男は環境の変化に戸惑い、ホームを抜け出してしまふ。そんな中、珠子は邪魔になる梅の木を切ることを決意するが...

ながおかワーク&ライフセミナー講座1
日時 2023年2月23日(木・祝日) 10:00~12:00
会場 ニューオータニ長岡NCホール
映画上映 「梅切らぬバカ」(上映時間77分)
活動報告 障がい児ママサポートかけはし~長岡~ 女のスペースながおか

参加費 無料
長岡ワーク&ライフセミナー主催団体: 長岡地区労働者福祉協議会
共催 (公財)新潟ろうきん福祉財団・(一社)新潟県労働者福祉協議会
後援 長岡市・長岡市教育委員会 運営協力 長岡アジア映画祭実行委員会!
この事業は公益財団法人新潟ろうきん福祉財団の公益支出事業を主たる財源として開催します。
長岡地区労働者福祉協議会 事務局 連合中越地域協議会
問い合わせ TEL 0258-86-0111 (平日:9:00~17:00)
申し込み先 FAX 0258-86-0884 申込みはこちらから
メール rengo.c@topaz.ocn.ne.jp (Googleフォーム)



梅切らぬバカ
加賀まりこ 塚地武雅
「梅切らぬバカ」 塚地武雅 / 林京子 高橋礼子
監督: 脚本: 相馬貴太郎
大きな梅の木に見守られ、母と息子は今日も生きる。ゆっくと、丁寧に。
人と人がつながり、共に生きることの喜びを描く。
*会場入り口でフードバンクによるフードドライブを行います